

2021年12月22日(水)

コンバーティングテクノロジー総合展事務局

報道関係者各位

プラスチック・フィルム業界のサーキュラーエコノミー最前線
バイオプラスチック・リサイクル材料・加工装置の最新製品が集結

コンバーティングテクノロジー総合展事務局（株式会社 JTB コミュニケーションデザイン、以下 JCD）は、株式会社加工技術研究会と共催で、2022年1月26日（水）から28日（金）まで素材と加工技術の展示会「**新機能性材料展・Converttech JAPAN・JFlex・3DECOtech**」（コンバーティングテクノロジー総合展）を東京ビッグサイトにて開催します。



SDGs が目指すサステナブル社会の実現に向けて、モノづくりの現場では環境に配慮した素材や装置開発に注力する企業が注目を集めています。

新機能性材料展では、バイオプラスチックなどの地球にやさしい素材やサーキュラー素材が東京ビッグサイトに集結します。初出展の[東洋クロス](#)が、植物由来材料を用いた環境配慮型レザーや、PET ボトルリサイクルフィルムを用いた離型フィルムを出展するほか、[愛媛県繊維染色工業組合](#)（四国産業・技術振興センター内 共同出展）は、国内トップの品質を誇る、今治タオルの加工工程で発生する廃棄物から作られたサステナブルな CNF（セルロースナノファイバー）を出展します。

また、製造現場では徹底した品質管理と生産性向上を追求する一方、サーキュラーエコノミーを推進する装置開発が進んでいます。[山東鐵工所](#)の剥離洗浄機や[オリент総業/サワーコーポレーション](#)の脱墨装置は、生産現場で生じたフィルムのヤレ品（テスト品や印刷ミス品）を再利用する処理装置として Converttech JAPAN に新製品を出展します。

なお、併催セミナーでは、「サーキュラーエコノミーとサステナブル材料」と題して、バイオプラスチックの第一人者、[東京大学の岩田忠久氏](#)が基調講演に登壇するほか、「SDGs とモノづくり」のセミナーでは、[プラスチック容器包装リサイクル推進協議会](#)より、プラスチック資源循環法と容器包装の資源循環の最新動向・事例を紹介

します。その他、三菱ケミカル、ダイセル、フタムラ化学、グンゼ、大日本印刷など、業界を牽引する「材料×加工」メーカーが登壇し、サステナビリティの最先端の取組を発信します。

◆ **サステナブル素材やリサイクル装置が集結 ～ 注目製品・技術一覧**

【！】感染対策で展示会場内の説明員を絞っている場合があります。取材希望の方は来場前にお問合せください。

【材料】

※順不同

<p>東洋クロス [小間番号：6J-04] Tocolo ECO Leather</p> <ul style="list-style-type: none"> ① Tocolo ECO Leather 植物由来原料を用いた、環境配慮型レザー ② リサイクルPET 離型フィルム PET ボトルリサイクルフィルムを用いた離型フィルム 	
<p>帝人 / 帝人フロンティア [小間番号：6G-07]</p> <ul style="list-style-type: none"> ① V-Lap® ウレタン不使用。ウレタンと違い、燃焼時にも有毒ガスの発生が少ないリサイクルPET素材を使用可能。 ② NANOFRONT® リサイクル原料を使用した“ナノフロント®”の量産技術を開発。リサイクルポリエステルを使用した、長繊維による超極細ポリエステルナノファイバーの量産化は世界初（帝人フロンティア調べ） ③ ECOPET®ペーパー 25年以上の歴史を持つペットボトルリサイクル繊維“ECOPET®”を使用した紙 	<p>ECOPET®ペーパー</p> 
<p>日榮新化 [小間番号：6G-01] 環境配慮型素材・製品</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 印刷ラベル用エコマスラベルシリーズ・エコマスラミネート、サイン用エコ商材、機能材エコマステープシリーズの紹介。 ② 解体性テープ、三層分離テープなど体験型での紹介と再剥離バイオマス粘着剤、バイオマスハードコートも展示 	
<p>愛媛県繊維染色工業組合 [小間番号：6E-01 / 四国産業・技術振興センター]</p> <p>ii-CNF</p> <p>国内トップの品質を誇る、今治タオルの加工工程で発生する廃棄物から作られたサステナブルなCNF（セルロースナノファイバー）</p>	
<p>日本乳化剤 [小間番号：6M-08]</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 植物由来添加剤 バイオマスリキッド FP-69I02 バイオマスリキッド FP-69I02 は非可食植物を原料に、従来可溶化が困難であったバイオマス原体の水溶化に成功。液状化することにより、i) 水性用途への展開、ii)ハンドリング性の向上、iii)均一に混合できることによる品質安定化が可能 ※用途：水性インク・塗料用添加剤、接着剤、バインダー、増粘剤、賦形剤 ② セルロース溶解用イオン液体 セルロース溶解用イオン液体は、セルロース材料の製造プロセスの省力・省エネ化、バイオマス燃料の製造、バイオマスの有効活用への貢献が期待されている。 	 <p>天然樹脂（原体） → 当社可溶性技術 → バイオマスリキッドFP-69I02</p>

ダイセル / ポリプラスチック

[小間番号：6D-07]

セルブレン EC

セルブレン EC は海洋生分解性があり、海洋中で崩壊性を示す素材。意図せず海洋への流出が懸念されるさまざまな製品への採用が期待されており、セルブレン EC を用いることで、海洋マイクロプラスチック問題抑制に貢献。また、非可食性の木材が主原料となっている為、石油化学品使用量減少にも貢献する。



【加工機械】

山東鐵工所

[小間番号：6M-22]

剥離洗浄機

フィルム（プラスチック）からインクを剥離・洗浄することで、フィルム（プラスチック）の再利用に貢献。

【特長】

- ブラシロールと剥離ロール（特許出願済）による効果的な剥離
- 槽に循環システムを設け、洗浄助剤のランニング（廃棄）コスト削減に貢献
- 片面印刷、両面印刷、両方の印刷フィルムに対応



※展示会場内でパネル展示

オリエント総業 / サワーコーポレーション

[小間番号：6S-22]

フィルム脱墨装置『Mujica』

グラビア印刷の条件出しの際に使用するヤレ原反に着目し、フィルムからインクを除去して、ヤレ原反あるいはプラスチック樹脂として再利用することが可能。

展示会場と工場をネットワークで接続し、リモートによる実機のデモンストレーション予定。



※リモート展示

◆ **注目のセミナー 「サーキュラーエコノミーとプラスチック資源循環」のセッション全 11 本**

サーキュラーエコノミーとサステナブル材料

※敬称略

1月26日(水) 10:10-14:10 会場：東京ビッグサイト マテリアルステージ（東5ホール）



◇ 13:30-14:10

【基調講演】 高性能な生分解性プラスチックの創製と将来展望

岩田 忠久 東京大学 大学院農学生命科学研究科 教授



◇ 10:10-10:40

【特別講演】 バイオプラスチックの ISO 国際標準化動向

国岡 正雄 産業技術総合研究所 標準化推進センター 標準化オフィサー

◇ 生分解性酢酸セルロースの環境材料としての取組み紹介

樋口 暁浩 ダイセル マテリアル SBU 研究開発グループ 主席研究員

◇ プラスチックフィルムメーカーが考える環境対応製品の方向性
花市 岳 フタムラ化学 中部統括 開発グループ

◇ 持続可能な循環型社会の実現に貢献するバイオプラスチック
佐野 浩 三菱ケミカル サークュラーエコノミー推進本部
本部長付/ポリマーズ&コンパウンズ企画本部 本部長付

SDGs とモノづくり

1月28日(金) 10:30-15:10 会場：東京ビッグサイト コンバーテックステージ (東5ホール)

◇ プラスチック資源循環法とプラスチック容器包装の資源循環 産業界の取組み
久保 直紀 プラスチック容器包装リサイクル推進協議会 専務理事

他、グンゼ、富士機械工業、大日本印刷、富士フィルムが登壇します

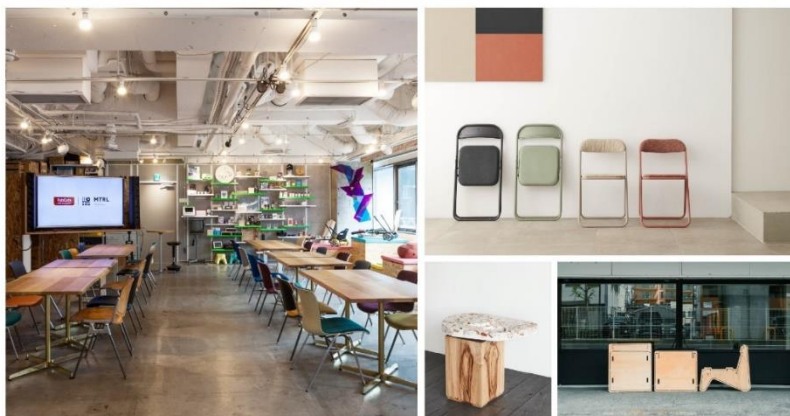
マテリアルの「意味のイノベーション」

1月27日(木) 14:30-16:45 会場：東京ビッグサイト マテリアルステージ (東5ホール)

◇ サークュラーデザインとサプライチェーン変容
加藤 佑 ハーチ 代表取締役
木下 浩佑 ロフトワーク MTRL / FabCafe Kyoto マーケティング & プロデュース

◆ JCD X MTRL 体験型コミュニケーションスペース 「Innovation Lounge」

新機能性材料展 2022 に MTRL(マテリアル)が初出展します。MTRL は、様々な企業・機関の素材の新用途開発や新市場に向けた事業戦略などを支援してきました。今回、「発見」「交流」を通してインスピレーションが生まれる体験型のブースを展示会場内に設けます。MTRL に所縁のあるクリエイターやメーカーが手がけたプロダクトが多数登場。サステナビリティを意識した素材やテクノロジーに対する新しい視点や価値提案の気づきを得られる空間にどうぞご期待ください。



展示プロダクト [小間番号：6A-02]

- ・ 1518 PIPE chair
- ・ ForestBank™
- ・ プラモ家具 3 × 6 (サブロク)
- ...ほか



**Converttech
JAPAN 2022**

新機能性材料展2022

JFlex2022

**3DECO tech
2022**

来場登録はこちら > [展示会公式ウェブサイト\(https://www.converttechexpo.com/\)](https://www.converttechexpo.com/) ※[完全来場登録制](#)

【新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン】 2021年12月6日

https://www.nanotechexpo.jp/main/pdf/Guidelines_for_visitors_ja.pdf

◆コンバーティングテクノロジー総合展 開催概要

名称：Converttech JAPAN / 新機能性材料展 / JFlex / 3DECOtech (コンバーティングテクノロジー総合展)

主催：株式会社加工技術研究会

共催：株式会社 JTB コミュニケーションデザイン

開催日時・場所：2022年1月26日(水) - 28日(金) 東京ビッグサイト 東5ホール

出展者数：206社・団体 / 287小間 / カンファレンス：49本 ※2021年12月20日現在

公式WEBサイト：<https://www.converttechexpo.com/index.html>

入場料：無料 (完全来場登録制)

同時開催展：nano tech / MEMS SENSING & NETWORK SYSTEM / ASTEC / SURTECH / TCT Japan
ENEX / DER・Microgrid Japan / 再生可能エネルギー 世界展示会 & フォーラム / InterAqua
を含む13展示会同時開催

◆株式会社 JTB コミュニケーションデザイン (JCD) 会社概要

所在地：東京都港区芝 3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング 12階

代表者：代表取締役 社長執行役員 古野 浩樹

設立：1988年4月8日

URL：<https://www.jtbcom.co.jp/>

◆展示会に関するお問い合わせ先

株式会社 JTB コミュニケーションデザイン 事業共創部 トレードショー事業局内
コンバーティングテクノロジー総合展 事務局 萩 / 石川

TEL: 03-5657-0761 E-mail: kinousei@jtbcom.co.jp